

地域観光とホスピタリティ



DATA

●主な連携先・メンバー

吹田歴史文化まちづくりセンター「浜屋敷」

●活動地域

大阪府吹田市

●活動資金

江頭財団 等

活動の目的

- 1 | 文書では記録できない観光ボランティアの活動を映像に記録すること
- 2 | スマホで利用できる吹田観光サイトの作成
- 3 | イベントの企画と実施

連携にいたる経緯

京阪電車向けに「乗客用アプリ」「沿線商店街の活性化アプリ」の提案、堺市で「車イス利用者向け観光アプリ」研究などを行っていた。吹田市内での研究場所を探っていた時に、偶然ある教授の紹介で浜屋敷理事の金村氏が研究室に來られ、すぐに連携の話が始まった。

活動内容

ゼミで浜屋敷に行くようになったのは2015年からである。2016年度には江頭財団から研究助成を受けて活動をした。2017年度まで3年間活動し、2017年度の終わりには3年間のゼミ活動の展示会を浜屋敷で行った。主な活動内容は下記の通りである。

- ・浜屋敷での新しいイベントの提案
- ・まち歩きボランティアへのインタビューと交流会の実施
- ・ネット用映像撮影(アルゴリズム体操)
- ・浜屋敷イベントへの協力(江戸時代ヘタイムスリップ)
- ・吹田まち歩き記録映像の撮影と編集
- ・浜屋敷ハロウィンイベントへの参加(バーチャル吹田まち歩き)(バーチャルお化け屋敷)
- ・吹田まち歩きナビ・サイトの制作



活動の成果

- 1 | 吹田まち歩きナビ・サイトの制作
- 2 | 浜屋敷でのイベントの実施
- 3 | 映像作成(吹田まち歩き360度映像・ボランティアの記録映像など)

今後の課題・目標

- 1 | 地域紹介動画委のネット再生回数を増やすための方法を研究する
- 2 | ウェアラブルカメラでの撮影方法を改良する
- 3 | スマートフォンを利用したイベントを検討する

● 教員紹介



社会学部 教授 富田 英典(とみた ひでのり)

専門はモバイルメディアの社会学研究、理論研究である。ゼミでは、スマートフォンを利用した新しいイベント、事業、商品の研究などを学外団体と共同で実施する。